

グループ・ディスカッションを英語でするにはどうしたら・・・？

英語選修 教授 齋藤 英敏

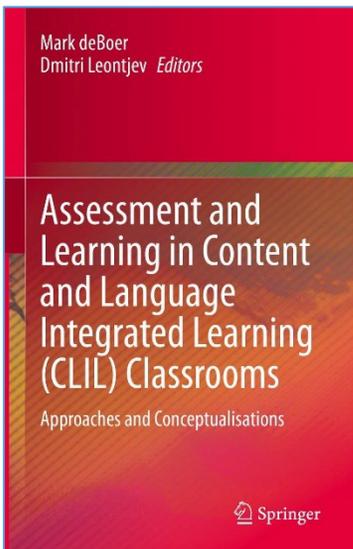
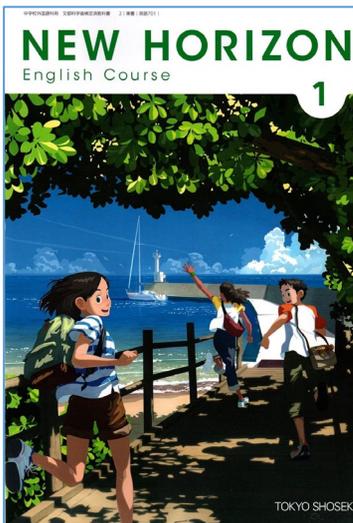
英語でディスカッションするための力と環境を作る

そもそも中学校で英語でグループ・ディスカッションなんてできるの？それが最初の疑問でした。県内の指導力のある、ディスカッションを実践する5名の先生方の授業を1年間観察し、インタビューも何度もとりました。

そこから浮かび上がったのは、英語でグループ・ディスカッションするための力と、それを引き出す環境が必要ということでした。全部で12の環境・指導原則を提案するに至りました。

そのうちの1つの原則「足場かけを使い、難易度を徐々に上げる」から右下のような指導例ができます。研究結果は夏ごろ「はじめての英語グループ・ディスカッション」という書籍で発売予定です。

その他の研究として



中学校の英語教科書の編集や小学校英語の授業づくり、内容・言語統合型学習の方法や評価などの研究にも取り組んでいます。

α 内容言語統合型学習とは普通の教科を英語で習うアプローチでCLILと呼ばれています

話すヒント



意見に触れる

様々な意見に触れることで、自分の考え方が作られていきます。人の意見を吟味して、表現も学びます

質問し合う

リストの中から選んだものについてペアで質問をします

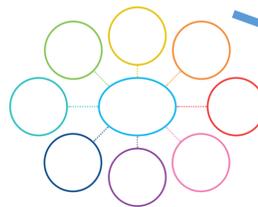
リストする

アイデアをリストします



マインドマップ

質問を基にマインドマップでピックを膨らませます



3人(トライアド)でまず話してみる

間違ってもいいからとにかく話してみます…

私はこう考える

英語教育では、コミュニケーション力育成を目標としていますが、通じればいいものではありません。相手を理解し、ときに妥協、交渉するなど、よりよい社会を作るためにはディスカッション力の育成が欠かせません

